

事務事業	108	路面下空洞調査					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	03	快適な生活環境づくり					
施策	02	人にやさしい道路、交通施設の整備					
事業内容							
目的	路面下の空洞を把握し、道路陥没等を未然に防ぐため実施します。						
対象・手段	防災上重要な路線やバス路線等、区民生活を支える主要な区道を対象に、地中レーダーによる探査及び解析を行い、空洞の有無の確認と原因の究明を行います。						
成果(事業が意図する成果)							
路面下の空洞を把握し補修することで、道路陥没による事故の防止が図られます。							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
調査延長(車道部)		年間の調査延長			(毎) 年度に (50.5Km) の水準達成		
調査延長(歩道部)		年間の調査延長			(毎) 年度に (17.5Km) の水準達成		
					() 年度に () の水準達成		
成果の達成状況							
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
事業 成果 指標	目標値 1	km	9.00	50.50	50.50	50.50	
	実績 1	km	12.92	52.32	52.83	57.11	
	= /	%	143.56	103.60	104.61	113.09	
	目標値 2	km	5.00	17.50	17.50	17.50	
	実績 2	km	18.03	21.71	26.74	23.27	
	= /	%	360.60	124.06	152.80	132.97	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	車道調査 52.8 km (空洞数 25) 歩道調査 26.7 km (空洞数 2)						
平成18年度	車道調査 57.1 km (空洞数 14) 歩道調査 23.2 km (空洞数 3)						

部名称		環境土木部			課名称		土木課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	7,461	16,200	16,201	16,200		
	人件費	千円	1,668	2,501	2,501	2,484		
	事務費	千円	0	0	0	0		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	9,129	18,701	18,702	18,684		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	9,129	18,701	18,702	18,684		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	9,129	18,701	18,702	18,684		
	特定財源		0	0	0	0		
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
職員	常勤職員	人	0.20	0.30	0.30	0.30		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
事業に関する検討課題								
<p>現在、調査路線を主要な道路に絞っていますが、今後財政状況を勘案しながら、生活道路まで対象を拡大するか検討していくことが必要です。</p>								
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	緊急的の調査が必要な道路にも対応していることから、計画以上の調査実績になっています。					
	効率性	3	調査を計画的に実施しており、効率的です。					
	実施の成果	3	空洞の早期発見と陥没防止につながっています。					
	行政の関与	3	道路管理者として、区がおこなうべき業務です。					
	妥当性	3	地中レーダーにより、道路を掘ることなく調査できる本調査方法は妥当です。					
	施策寄与度	3	本調査を実施することは、道路管理の考え方を従来の道路陥没発生後処置から未然対策処置に移行するものであり、事故防止等に大いに役立つものです。					
総合評価	<p>これまで、経費を有効利用して予定延長を上回る調査を行い、車道部98箇所、歩道部33箇所の空洞を発見し道路陥没と事故の防止を図ることができました。 区道は、区民生活のみならず都市機能においても重要な役割を担っています。 委託にてレーダー技術を用いた高度な探査を行うことにより、道路下の空洞を迅速かつ正確に発見し事故の予防に寄与する当事業は、区民生活の安全性を高める有効な手段です。</p>						A 過年度評価	
							17年度 A 16年度 B 15年度 14年度	
改革方針							方向性	
	<p>計画的に事業を実施する中で、空洞を的確に発見している実績があるため、今後も継続していきます。 また調査路線の対象を生活道路まで広げるについては、財政状況等を勘案しながら検討していきます。</p>						1 現状のまま継続	